

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6763 URL <http://www.noble-j.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一柳 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理室管掌 (氏名) 小田切 純夫 (TEL) 044-422-3831
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,641	4.8	118		83		806	
24年3月期第2四半期	6,976	12.4	509		636		673	

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 772百万円(%) 24年3月期第2四半期 850百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	16.54	16.51
24年3月期第2四半期	13.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	19,892	16,503	81.4
24年3月期	19,991	16,181	79.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 16,184百万円 24年3月期 15,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		2.50		2.50	5.00
25年3月期		2.50			
25年3月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	0.1	100		100		800		16.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 1社(社名) 華南富貴電子株式会社

(注) 詳細は、添付資料P.5「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.5「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	50,709,167株	24年3月期	50,709,167株
25年3月期2Q	1,887,410株	24年3月期	1,950,723株
25年3月期2Q	48,776,157株	24年3月期2Q	48,703,671株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P.4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14
製品別販売実績	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、長引く欧州の金融不安と、その影響を受けた中国をはじめとする新興国の成長が鈍化するという状況から先行き不透明な経済環境となりました。

当社グループの属するエレクトロニクス業界は、スマートフォンやタブレットPCが引き続き好調でしたが、特定メーカーへの依存度が極めて高く部品業界としては市場リスクも懸念されております。薄型TVをはじめとする主力家電製品やパソコンなどは依然として低迷が続きまして。

このような状況の中で当社グループは、引き続き収益改善を最優先に進めてまいりました。海外主力4拠点生産体制の確立に伴い、タイでは2社統合後の新体制での生産開始、中国では本年3月に江蘇省淮安市に設立した新会社での生産開始、ベトナムでは増産体制の確保、そしてインドネシアではタイの洪水以降行われていた緊急支援体制での代替生産を終了しました。販売面では、新規市場への積極的提案と拡販、ASEANと中国での新規顧客開拓と拡販を積極的に進める一方、利益確保のための価格見直しを行いました。また、グループ全体でのコストダウンと経費削減のための諸施策を継続して実施しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は66億41百万円（前年同期比4.8%減）となりました。営業損失は1億18百万円（前年同期は5億9百万円の営業損失）、経常損失は83百万円（前年同期は6億36百万円の経常損失）となりました。四半期純利益についてはタイ王国での洪水被害に伴う保険金収入9億7百万円もあり、8億6百万円（前年同期は6億73百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

電子部品

生産が回復した自動車電装向けが引き続き好調で、ミラーレス一眼が人気のデジタルカメラ向けも堅調でした。一方では、薄型テレビ向けやビデオカメラ向けが低調のまま推移しました。製品別では前面操作ブロック（ICB）製品が全体としては持ち直しましたが、可変抵抗器、固定抵抗器は中国市場などの低迷を受け低調でした。

この結果、電子部品の売上高は64億23百万円（前年同期比4.0%減）となり営業損失は94百万円（前年同期は4億46百万円の営業損失）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

a. 日本

回復した自動車電装向けが好調で、ヘルスケア向けも順調に伸びました。

この結果、売上高は35億31百万円（前年同期比2.9%増）となり営業利益は16百万円（前年同期比217.4%増）となりました。

b. アジア

自動車電装向けやデジタルカメラが好調でしたが、薄型テレビ、ゲーム機、オーディオ、パソコン関連向けなどが引き続き低調でした。

この結果、売上高は26億54百万円（前年同期比12.8%減）となり営業損失は1億11百万円（前年同期は4億37百万円の営業損失）となりました。

c. 北米

全体的には低調でしたが、主力顧客の薄型テレビ向けが堅調でした。

この結果、売上高は2億38百万円（前年同期比9.9%増）となり営業利益は1百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。

その他

機械設備の製造販売については、新興国の成長の鈍化に伴う設備投資の抑制から、全般に低調でした。

この結果、その他の売上高は2億17百万円(前年同期比23.4%減)となり営業損失は31百万円(前年同期は69百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ98百万円減少し198億92百万円となりました。その内訳は、流動資産が3億49百万円減少し120億19百万円、固定資産が2億50百万円増加し78億72百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ4億21百万円減少し33億88百万円となりました。その内訳は、流動負債が3億75百万円減少し28億89百万円、固定負債が46百万円減少し4億98百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ3億22百万円増加し165億3百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の79.2%から81.4%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ2百万円減少(前年同期は10億22百万円の減少)し、当第2四半期連結会計期間末に43億60百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は14億57百万円(前年同期は6億39百万円の使用)となりました。これは、タイ王国で洪水被害に伴う保険金収入が14億58百万円発生したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11億67百万円(前年同期比9億65百万円の増加)となりました。これはタイ所在の子会社において洪水により被災した代替設備等有形固定資産の取得による支出10億14百万円(前年同期は4億3百万円)などによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億26百万円(前年同期比11百万円の減少)となりました。これは配当金の支払い1億23百万円(前年同期は1億23百万円)などによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

長引く欧州の金融不安には具体的な解決策が見出せず、そのため世界経済を牽引する状況にあった中国をはじめとする新興国経済も停滞しており、米国経済も本格回復の見込みはありません。

このような先行きが極めて不透明な環境で、エレクトロニクス業界は大変厳しい状況に置かれております。家電市場を牽引してきた薄型テレビとパソコンの伸び悩みが深刻な問題として業界再編にも発展し始めております。また、携帯電話においては、スマートフォン人気が特定メーカーのシェアを極めて高くしており、従来にはない市場形態の中に先行きの不透明さとリスクが混在しております。

機器のデジタル化に伴う大手EMS（受託生産会社）による大量生産は、部品業界へも大きな影響を与えております。

このような不透明で厳しい環境のなかで、当社グループとしては緊急の課題である収益改善を最優先で継続してまいります。海外生産4拠点体制を確立し生産機種の統廃合を実施し、さらに効率的な生産を追及しながら、各拠点の強みを十分に発揮できるような体制を整備してまいります。また、前述のような市場の変化に対応できるように、営業、調達、生産、納入までを有効的にリンクさせてまいります。これに加えて更なるコスト削減を継続して行い収益改善に全力で取り組んでまいります。このような取り組みを行うことにより変化する市場へ対応する体制と収益改善を実現することで、今後の復活と再生に向けた体質にしてまいります。

当期の下期については、このような厳しい世界経済のため家電や自動車市場が減速することが予想されます。当社グループにおいては、下期には前面操作ブロックのデジタルカメラや自動車電装向けの新機種が立ち上がる予定ですが、欧州の金融不安や新興国にまで波及した景気停滞懸念等、不透明感が増してきましたので業績予想の修正が必要になった場合には速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

華南富貴電子(株)は、清算手続き中であり重要性が無いため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,889,644	4,860,878
受取手形及び売掛金	3,926,436	4,103,621
商品及び製品	1,070,205	1,105,569
仕掛品	622,665	737,447
原材料及び貯蔵品	816,373	807,271
その他	1,051,051	417,893
貸倒引当金	6,825	12,909
流動資産合計	12,369,551	12,019,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,168,761	2,111,103
機械装置及び運搬具(純額)	1,087,098	1,485,856
その他(純額)	1,241,096	1,058,331
有形固定資産合計	4,496,956	4,655,291
無形固定資産		
	126,028	120,763
投資その他の資産		
投資有価証券	1,393,361	1,276,848
関係会社出資金	330,800	457,705
その他	1,280,906	2,144,227
貸倒引当金	6,076	781,921
投資その他の資産合計	2,998,991	3,096,859
固定資産合計	7,621,975	7,872,914
資産合計	19,991,526	19,892,687
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,254,343	1,566,578
短期借入金	151,243	171,553
未払法人税等	43,163	48,528
賞与引当金	294,819	307,277
その他	1,521,412	795,806
流動負債合計	3,264,981	2,889,743
固定負債		
退職給付引当金	173,446	171,065
その他	371,538	327,904
固定負債合計	544,985	498,969
負債合計	3,809,967	3,388,713

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	9,362,590	9,719,418
自己株式	981,223	948,081
株主資本合計	17,290,758	17,680,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188,435	114,786
為替換算調整勘定	1,651,181	1,611,375
その他の包括利益累計額合計	1,462,745	1,496,589
新株予約権	8,176	3,696
少数株主持分	345,370	316,137
純資産合計	16,181,559	16,503,973
負債純資産合計	19,991,526	19,892,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,976,247	6,641,032
売上原価	5,518,153	4,946,522
売上総利益	1,458,093	1,694,510
販売費及び一般管理費	1,967,576	1,813,192
営業損失()	509,482	118,681
営業外収益		
受取利息	8,822	15,064
受取配当金	19,108	40,458
受取賃貸料	69,960	55,955
貸倒引当金戻入額	-	39,700
その他	55,541	83,431
営業外収益合計	153,432	234,611
営業外費用		
支払利息	258	2,228
固定資産賃貸費用	29,610	24,108
為替差損	226,769	162,843
その他	23,583	10,337
営業外費用合計	280,221	199,517
経常損失()	636,271	83,587
特別利益		
保険解約返戻金	22,613	-
受取保険金	-	907,590
災害損失戻入益	-	37,057
特別利益合計	22,613	944,647
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	613,657	861,060
法人税等	48,055	37,744
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	661,713	823,316
少数株主利益	11,609	16,476
四半期純利益又は四半期純損失()	673,322	806,839

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	661,713	823,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,666	73,403
為替換算調整勘定	137,003	22,565
その他の包括利益合計	188,670	50,837
四半期包括利益	850,383	772,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	822,398	772,996
少数株主に係る四半期包括利益	27,985	517

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	613,657	861,060
減価償却費	510,587	399,094
有形固定資産除却損	2,055	4,944
退職給付引当金の増減額(は減少)	71,936	59,231
賞与引当金の増減額(は減少)	1,199	18,914
役員賞与引当金の増減額(は減少)	7,200	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	733	6,199
受取利息及び受取配当金	27,930	55,523
支払利息	258	2,228
保険返戻金	22,613	-
受取保険金	-	907,590
災害損失戻入益	-	37,057
有形固定資産売却損益(は益)	12,730	14,127
売上債権の増減額(は増加)	107,914	9,281
たな卸資産の増減額(は増加)	349,769	144,465
仕入債務の増減額(は減少)	94,969	99,751
未払消費税等の増減額(は減少)	125,038	216,501
その他	198,139	427,478
小計	666,516	46,061
利息及び配当金の受取額	27,930	54,314
利息の支払額	309	2,241
法人税等の支払額	44,203	29,114
法人税等の還付額	43,248	21,859
保険金の受取額	-	1,458,509
営業活動によるキャッシュ・フロー	639,849	1,457,266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	171,885	143,609
定期預金の払戻による収入	254,910	144,041
有形固定資産の取得による支出	403,567	1,014,432
有形固定資産の売却による収入	21,087	28,945
無形固定資産の取得による支出	15,532	23,046
投資有価証券の取得による支出	477	511
関係会社出資金の払込による支出	-	127,916
貸付けによる支出	-	3,016
貸付金の回収による収入	3,725	500
保険積立金の解約による収入	142,894	-
その他	32,779	28,301
投資活動によるキャッシュ・フロー	201,624	1,167,346

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,971	20,491
短期借入金の返済による支出	3,669	181
ファイナンス・リース債務の返済による支出	658	1,305
自己株式の取得による支出	536	491
自己株式の売却による収入	153	67
配当金の支払額	123,550	123,574
少数株主への配当金の支払額	17,699	21,892
財務活動によるキャッシュ・フロー	137,988	126,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	43,097	21,494
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,022,561	184,526
現金及び現金同等物の期首残高	5,840,481	4,362,418
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	186,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,817,919	4,360,277

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	6,692,137	284,109	6,976,247		6,976,247
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,048	298,290	315,339	(315,339)	
計	6,709,185	582,400	7,291,586	(315,339)	6,976,247
セグメント損失()	446,358	69,349	515,707	6,225	509,482

(注)1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	3,431,223	3,044,314	216,599	6,692,137		6,692,137
地域間の内部売上高 又は振替高	3,136,490	3,094,202		6,230,692	(6,213,644)	17,048
計	6,567,713	6,138,516	216,599	12,922,829	(6,213,644)	6,709,185
地域別利益又は損失 ()	5,057	437,513	4,715	437,171	9,186	446,358

2. セグメント損失()の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	6,423,421	217,611	6,641,032		6,641,032
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,600	299,077	304,677	(304,677)	
計	6,429,021	516,688	6,945,710	(304,677)	6,641,032
セグメント損失()	94,859	31,612	126,471	7,790	118,681

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	3,531,165	2,654,118	238,137	6,423,421		6,423,421
地域間の内部売上 高又は振替高	2,737,042	2,372,763		5,109,806	(5,104,206)	5,600
計	6,268,208	5,026,882	238,137	11,533,228	(5,104,206)	6,429,021
地域別利益又は損失 ()	16,049	111,977	1,343	94,584	275	94,859

2. セグメント損失()の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

製品別販売実績

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック(千円)	2,486,783	35.6	2,657,461	40.0	106.9
可変抵抗器(千円)	1,869,667	26.8	1,481,693	22.3	79.2
固定抵抗器(千円)	751,389	10.8	598,488	9.0	79.7
その他(千円)	1,584,296	22.7	1,685,778	25.4	106.4
小計(千円)	6,692,137	95.9	6,423,421	96.7	96.0
その他					
その他(千円)	284,109	4.1	217,611	3.3	76.6
小計(千円)	284,109	4.1	217,611	3.3	76.6
合計(千円)	6,976,247	100.0	6,641,032	100.0	95.2